

インターネットの活用

I インターネットとは

A インターネットの特徴

- ・世界レベルのネットワーク
- ・情報量の増大
- ・平等性 (国レベル、個人レベル)
- ・混在性 (主観情報、情報の管理者がいらない)
- ・不安定さ

B インターネットで何ができるのか

1. オンラインの郵便： 電子メール
2. 意見交換・論議： 電子掲示板、ネットニュース、チャットなど
3. 情報提供サービス： WWW (World Wide Web、略してWebとも呼ぶ)

II Web 上での情報検索

A アクセス方法

1. URL (アドレス) を知っている場合

URL (アドレス) を入力し、目的のサイトに直接アクセスする。

2. URL (アドレス) を知らない場合

①検索エンジン (サーチエンジン) を使う。

- ・ディレクトリー型・・・分野別にサイトが登録されている

Yahoo! Japan = <http://www.yahoo.co.jp/> (階層構造をたどってサイトを見つける)

Yahoo! = <http://www.yahoo.com/> (Yahoo! Japan の英語版)

- ・ロボット型・・・指定したキーワードを含む Web ページがリストアップされる

<(*)印のあるものはディレクトリー型の機能も提供している>

goo(*) = <http://www.goo.ne.jp/> (国内最大級のデータ量を持ち、検索機能も多彩)

Google(*) = <http://www.google.co.jp/>

(Web ページをランク付けし重要度の高いものから表示する)

Infoseek Japan(*) = <http://www.infoseek.co.jp/>

(キーワードだけでなくフレーズや文章検索が可能)

フレッシュアイ(*) = <http://www.fresheye.com/>

(検索対象となるサイトの更新が早い)

ページ (Web ページ)

画面上に表示される 1 ページ。

例：大阪女学院図書館ホームページの中の「リンク集」のページ

サイト (Web サイト、ホームページ)

ある団体や個人が提供している Web ページの集まり。

例：大阪女学院短期大学のホームページ全体

②リンクをたどり、リンク先のサイトにアクセスする。

例：女学院図書館のリンク集の利用など。

B 検索エンジンを使った情報検索

各検索エンジンの特徴を理解した上で、キーワードで検索したりカテゴリーをたどるなどして必要なサイトを探す。

ディレクトリー型とロボット型の検索エンジンの特徴

	ディレクトリー型 (Yahoo! Japan)	ロボット型 (goo , Google)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● サイト単位で検索する ● キーワード検索の対象となるのは、サイト名、サイトの紹介文、カテゴリ名など 	<ul style="list-style-type: none"> ● ページ単位で検索する ● キーワード検索の対象となるのは、ページのタイトル、ページ全体のテキスト部分など
長所	<ul style="list-style-type: none"> ● ディレクトリー階層をたどって目的のサイトを探ることができる (適切なキーワードを思い付かなくても調べることが可能)。 ● カテゴリごとにサイトを厳選して登録しているので、質の良いサイトである可能性が高い。 ● キーワード検索の対象が限られているので、キーワードに合ったサイトが見つかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 登録されている件数が多い。 ● ページの全文検索を行うので、特殊な用語などであってもそのページに使用されていればヒットする。 ● 検索結果のリスト表示では、キーワードに合ったページがリストの上位に集まるように工夫されている。
短所	<ul style="list-style-type: none"> ● 登録件数が少ない。 ● 特殊な検索語はヒットしないことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● ヒット件数が膨大になりがちなので、キーワードを組み合わせて検索するなどの複合検索が必要となる。 ● 探しているテーマとは関係のないページまでもがヒットしてしまう。

(関祐司『インターネット最強の検索術』リブロス より加筆修正)

C Web 上の情報の評価ポイント

1. 質の高い情報を得るための留意点

- ・ 正確さ、信頼性
- ・ 客観性
- ・ 情報の新しさ
- ・ 一般公開性

2. Web サイトの評価

- ・ サイトの作成機関がどのような立場の個人や組織かの説明があるか？
- ・ サイトの作成者が大学、研究機関、政府など信頼のおけるところか？
- ・ 広告を減らすなど商業主義に走らず、客観的で正確な情報を提供しているか？
- ・ 必要な情報に無料でアクセスできるか？
- ・ 関連する他のサイトへのリンクはあるか？ 十分な量か？

3. 発信されている情報（Web ページ）の評価

- ・著者や作成機関の表示があるか？
- ・著者がその分野の専門家かどうか？
- ・その Web ページに用いられた情報・引用などの出所は明記してあるか？
- ・情報量が十分か？
- ・その Web ページが作成されたのはいつか？
- ・その Web ページが更新されたのはいつか？
- ・同じ情報を収録している異なるサイトと比較してみてもどのような違いがあるのか？

D その他

1. ドメイン名（インターネット上の住所）の識別方法

- ・国識別（アメリカ以外の国についている）

jp = 日本、uk = 英国、ca = カナダ、cn = 中国

- ・組織識別

日本：ac = 教育機関、co = 企業、go = 政府、or = 公益法人

アメリカ：edu = 教育機関、com = 企業、gov = 政府、org = 公益法人、mil = 軍隊

その他：int = 国際機関

例：http://www.wilmina.ac.jp

→ 日本の教育機関である大阪女学院のホームページ

III Web 上で得た情報をレポート等に引用する（MLA 教科書 p. 9～11 を参照）

和洋記事を引用する場合の基本形

著者姓名 ” 記事名 ” www サイト名 記事の書かれた日付または更新された日付
インターネット・サイトの発行者 アクセスした日付け
<アドレス、URL>。

- ・日本語の場合

(例) 知的財産戦略会議 ” 知的財産戦略大綱 ” 首相官邸 7.3, 2002、内閣官房内閣広報室
6.30, 2003

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki/kettei/020703taikou.html>。

- ・英語の場合

(例) Bayles, Fred. ” States Add Clergy to Sex-abuse Laws. ” USA TODAY 4 July 2002.

USA TODAY. 10 July 2002

<http://www.usatoday.com/news/nation/2002/07/05/usat-sexlaws.htm>.

【Web 情報の保存とプリント】

- ・操作方法は「キャンパスネットワーク利用ハンドブック」 p. 37～43 を参照すること。
- ・アドレスの記録はブラウザのアドレス欄を範囲指定したうえでコピーし、Word などに貼り付けるとタイプミスを防ぐことができる。

IV 分野別情報源の例

A 図書館にある資料を探す

国立国会図書館 = <http://www.ndl.go.jp/>

国立情報学研究所 (総合目録) = <http://webcat.nii.ac.jp/> または <http://webcatplus.nii.ac.jp/>

米国議会図書館 (The Library of Congress/LC) = <http://www.loc.gov/>

B 政府・国際機関が発信している情報を探す

日本政府 (首相官邸) = <http://www.kantei.go.jp/>

米国政府 = <http://www.whitehouse.gov/>

国連 (United Nations / UN) = <http://www.un.org/>

世界保健機構 (World Health Organization / WHO) = <http://www.who.int/en/>

C 主題別に情報を探す

・統計

総務省統計局 = <http://www.stat.go.jp/>

国内の各種統計データ

・環境問題

米国環境保護局 (U.S. Environmental Protection Agency) = <http://www.epa.gov/>

ニュースレター、刊行物案内など

・平和と戦争

PeaceNet = <http://www.igc.org/>

Institute for Global Communications (IGC) のサイトで、PeaceNet 以外にも EcoNet, WomensNet, Anti-Racism.Net ともリンク

NATO (北大西洋条約機構) = <http://www.nato.int/>

・マスコミ

CNN Interactive = <http://www.cnn.com/>

世界のニュース最新情報

毎日新聞 = <http://www.mainichi.co.jp/>

・女性問題に関する情報

国立女性教育会館 = <http://www.nwec.go.jp/>

女性や家族に関する図書、雑誌記事、新聞記事索引が検索できる

大阪府立女性総合センター = <http://www.dawncenter.or.jp/>

文献データベースの他、女性に関する統計、法律・制度の動き、女性グループの情報など

・人権

Human Rights Library = <http://www1.umn.edu/humanrts/japanese/Jindex.html>

ミネソタ大学作成の人権問題のサイト